ひだご坊

御遠忌特別号
2019年6月5日
【発行】
高山教区・高山別院
御遠忌推進委員会
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
TEL.(0577)32-0776
三市一郡無料配布
【印刷】山都印刷株式会社

高山教区・高山別院
宗祖親鸞聖人
七百五十回御遠忌法要厳修
二〇九年五月十日(金)～十二日(日)

このたび、高山教区・高山別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要ならびに高山別院本堂等御修復落成慶讃法要が厳修され、三日間で、延べ約五千五百名の方に参拝いただきました。

七百五十年続く飛騨真宗の中心道場、「御坊(ごぼ)さま」の大法要は、飛騨一円、約一万戸のご門徒の大きなお支えによって成し遂げられたことであります。

このたびの御遠忌法要で、見事に御修復が成り、美しく荘厳(しょうごん)が整えられた堂内には、空気がうねるほどに、正信偈とお念仏の大きな声が響きわたりました。

門首後継者ご出向

同朋唱和の御遠忌法要が勤まる

稚児行列でにぎわう御坊さま

御伝鈔

宗祖親鸞聖人のご生涯を聴く

やなせなな 法話ライブ

美しい歌声にいのちのふるさとを想う

御修復が成り、美しく整った道場で、新たな法灯相続の歩みが始まる

落成慶讃法要

飛騨と親鸞聖人展

東本願寺で咲き乱れる荘川桜

ご坊市

音楽法要

仏さまにお花を供える

浄土は声明となって

高山別院輪番　三島多聞

輪番就任から一年と九カ月。すでに多くのスタッフが法要に向け準備を進めておられました。遅くからの参加でしたが、飛騨一円の方々を迎える準備に加えてもらいました。そして何よりも法要儀式を、責任を持って執行する立場にあっては、ずっと緊張が続きました。

天候は晴れの情報に、いらぬ心配をせず、一点儀式執行に傾注しました。法要当日、今までの緊張は「恭敬心」に変わっていました。動作の運びはつたなくても、恭敬の心が身の運びを自然体にしていきました。

満堂の参詣者と共に、同朋唱和の響きあう声明は、まさに浄土の只中でありました。そこに身を置く心情はまさに、“遠く宿縁を慶ぶ”という親鸞聖人のお言葉通りであり、この果報をかたじけなく思わさせてもらいました。有難うございました。

207 名の仏弟子誕生

帰敬式

4月28日、家族deご遠忌が勤まりました。

境内は多くの家族連れで賑わい、ファミリーレストランひだご坊や、遊びの広場などの催しは大盛況でした。

その後本堂では、輪番の法話を聞いて、正信偈のおつとめ。『青少年勤行集』を手に、子どもたちとその家族でハーモニーを奏でました。「いのちと夢のコンサート」も楽しみ、笑顔あふれるひと時となりました。

家族deご遠忌

—大人も子どももほとけの子—

『青少年勤行集』を開き、家族のうた（正信偈）を大合唱

ファミレスひだご坊開店！ハヤシライスとおもちをいただく

おかげさまで、素晴らしい御遠忌法要が勤まりました。これ偏に門信徒の皆さまのご理解とご協力の賜物です。
法要に際しお手伝い、ご奉仕くださった方々に重ねて厚く御礼申しあげます。

高山教区・高山別院　宗祖親鸞聖人７５０回御遠忌推進委員会